



子どもの森づくり通信

(発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

JP子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2016年4月号)

〒144-0054 東京都大田区池上1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081
<http://www.kodomonono-mori.net> <mailto:info@kodomonono-mori.net>

「J P子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、
活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



九州地方の地震災害で被災された方々に
心よりお見舞い申し上げます。
一日も早い復興をお祈り申し上げます。

(目次)

1. 九州地方地震災害支援活動
2. 「東北復興グリーンウェイブ」第三回植樹会、及び関連活動のご案内
3. 東北ブロック防災研修講座のご案内
4. 事務局からのお知らせ

●新・どんぐり博士の育苗講座（2016年4月号）～発芽と芽吹き新时期です～

■「J P子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「J P子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の幼稚園・保育園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「J P子どもの森づくり運動」運営体制

- ・運 営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）
- ・特別協賛 : 日本郵政グループ
- ・後援/協力

(公社) 全国私立保育園連盟	(公社) 大谷保育協会
(公社) 国土緑化推進機構	NPO法人C・C・C富良野自然塾
(一社) 日本森林インストラクター協会	NPO法人自然体験活動推進協議会
NPO法人MORIMORI ネットワーク	(一社) 日本オート・キャンプ協会
(株) 実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部	保育環境研究所ギビングツリー



1. 九州地方地震災害支援活動

九州地方地震災害では、多くの方が被害に会われました。被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。

現在、行政、民間、及び団体による様々な支援活動が行われていますが、なかなかピンポイントの支援活動が実現しておりません。

そんな支援の現状を踏まえ、事務局では、JP子どもの森づくり運動の九州の参加園ネットワークを活用した支援活動を立ち上げ、全国の参加園に支援を依頼しました。結果、いくつかの参加園から素早いご支援をいただきました。あらためて、御礼申し上げます。

震災から二週間が経ち、支援物資については大分行きわたったとのことですが、災害は、時間経過とともにステージが変化します。

支援活動もその変化に対応して継続されなければなりません。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

支援の詳細については、ホームページにてご案内申し上げます。

1) 支援活動の内容

①九州エリア参加園からの地域災害情報収集

九州エリア参加園から、自園、及び近隣の幼稚園・保育園、さらに地域の災害状況や必要支援物資に関する情報をご提供いただきます。

②九州エリア参加園を拠点とする地域支援活動

九州エリア参加園を拠点に、提供された支援物資を近隣の被災された幼稚園・保育園、及び地域に届けていただきます。

③支援キャラバン活動

当法人の理事である、福岡県「青い鳥保育園」岡村園長先生をリーダーとする参加園有志による支援キャラバン活動と連動して、最新の災害状況と支援物資情報の収集と支援物資を届けていただいております。



2) 支援活動報告

「東北復興グリーンウェイブ」の活動拠点である岩手県山田町の社会福祉法三心会の三つの保育園（山田町第一保育所、豊間根保育園、織笠保育園）では、事務局からの提案に素早く動いていただきました。各園全部で42個口もの支援物資が、九州で支援活動の拠点となって活動されておられる福岡県「青い鳥保育園」に送られました。岩手県の「山田町第一保育所」と福岡県の「青い鳥保育園」、そして東京の「春明保育園」は、JP子どもの森づくり運動が提唱する「災害時相互支援協力協定」（*注）を、今年の2月に締結していただいたばかりです。「春明保育園」からも支援物資が送られました。



JP子どもの森づくり運動は、これから環境の時代を生きていかなばならない小さな子どもたちに、森づくり活動を通じて自然と環境の体験を提供し、子ども本来の“生きる力”と環境心の種を蒔くことを主たる目的として始まりました。9年間に渡る活動の継続の中で、復興支援に、そしてそこから必然的に、「本当に子どもたちの命を守るための防災」に活動のテーマが展開しております。すべての活動に共通のマインドは、“共に生きていく心”。事務局では、これからも環境学習、復興支援、防災、それぞれのテーマでの活動を積極的に提案し、継続してまいります。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

*注：「災害時相互支援協力協定」

「子森ネット」が提案する、JP子どもの森づくり運動参加園ネットワークの中で構築される災害時支援協力協定です。支援の関係は、三園による「トライアングル」を基本とします。トライアングルの関係こそが、災害という非常時にもっとも効率的に支援しやすい関係であるからです。一つの園が被災した際に、残りの二つの園が協力して支援にあたる関係が循環します。協定づくりについては参加園個別にご相談させていただきます。

2. 「東北復興グリーンウェイ」第三回植樹会、及び関連活動のご案内

今年で三回目となる「東北復興グリーンウェイ」の植樹会が岩手県山田町にて開催されます。今年は、5月22日のグリーンウェイの日が日曜日となり、植樹会は翌日の23日（月）に、山田町の五つの保育園の子どもたちが参加して開催されます。「東北復興グリーンウェイ」の活動も、活動の継続により地域に根付き、植樹会の前日の5月22日（日）に、地域の方々とのコラボレーション活動として、復興エリアである「新生やまだ商店街」への記念植樹を行います。



新生やまだ商店街

「新生やまだ商店街」に植えられる苗木は、地元山田町の保育園と全国の幼稚園・保育園の子どもたちが、被災地の緑の復興を願って育てた東北の“どんぐり”の苗木です。一方、「新生やまだ商店街」は、山田町の人たちの復興の願いのターミナルとして開設されました。今回の記念植樹によって、全国の子どもたちと、山田町の人たちの復興の願いが“どんぐり”の苗木によってつながります。植えられた苗木は、今後、地域の人たちによって見守られていきます。

「東北復興グリーンウェイ」における、岩手県山田町での記念植樹、及び植樹会は、下記の内容で開催されます。本活動には、毎年、全国の活動参加園から多くの園長先生や職員の方にご参加いただいております。まだご参加いただけない方々にも、この機会にご参加いただければと思います、ここにご案内申し上げる次第です。

1) 「東北復興グリーンウェイ」記念植樹会>
 日時：2016年5月22日（日）13:00～13:30
 会場：新生やまだ商店街 山田町八幡町12-9
 内容：山田町保育園代表園児による記念植樹
 チェンソーカービング・デモンストレーション

2) 「東北復興グリーンウェイ」第三回記念植樹会
 日時：2016年5月23日（月）10:00～11:00
 会場：山田町豊間根地区 植樹フィールド
 内容：山田町の五つの保育園の園児が、全国から届けられた東北の“どんぐり”の苗木を植えます。

3. 東北ブロック防災研修講座のご案内

JP子どもの森づくり運動では、今年度、活動の活性化を目的に、ブロック単位の活動を提案しております。活動メニューとして、「全国富良野自然塾ネットワーク」における環境学習研修講座と、「本当に子どもたちの命を守る」ための防災研修講座を開催します。その第一回目の講座として、東北ブロックにおける防災研修講座を、下記の内容で企画しました。東日本につづき、九州地方でも大きな地震災害が発生しました。園における防災対策は待ったなしです。「災害時相互支援協力協定」協定園の締結式も開催します。是非、この機会にご参加下さい。

（記）

- ・日時：2016年5月22日（日）14:00～16:00 ・会場：山田町中央公民館 岩手県山田町八幡町3-20
- ・講師：消防庁防災アドバイザー （株）タフ・ジャパン 代表 鎌田修広氏
- ・内容：震災の体験を踏まえて、園と地域との協働で、「本当に子どもたちの命を守る」防災の仕組みづくりを考えます。
- ・参加費：無料（要予約）＊参加ご希望の方は、事務局（子森ネット）までお申し込み下さい。

4. 事務局からのお知らせ

1) ご提案：「東北の“どんぐり”の苗木を見送る会」開催

今年も「東北グリーンウェイブ」の植樹会が、5月のグリーンウェイブの日に、岩手県山田町にて開催されます。その日に向けて、全国の参加園では、子どもたちが育ててくれた東北の“どんぐり”を「“どんぐり”の絆BOX」によって、山田町に送っていただきます。その際、子どもたちに活動における大切なことを伝えるために、「東北の“どんぐり”を見送る会」の開催をご提案します。東北に帰って行く“どんぐり”の苗木を見送る活動によって、参加園の子どもたちは、被災地の子どもたちのことを想い、“どんぐり”の絆を実感してくれるでしょう。

* 活動のレポートを事務局までお送り下さい。ホームページ等でご紹介させていただきます。



2) お願い：「ロハスデザイン大賞2016」投票参加

昨年につづき、ロハスな「ソト」、「モノ」、「コト」を顕彰する「ロハスデザイン大賞2016」のモノ部門に、「“どんぐり”の絆BOX」をエントリーしました。「ロハスとは、Lifestyles of Health and Sustainability の略で、地球環境保護と人間の健康を最優先し、人類が共存共栄できる持続可能な社会のあり方を追求するライフスタイルを指す言葉」（公式ホームページより）です。

「東北復興グリーンウェイブ」の活動は、2013年、「第8回ロハスデザイン大賞」の「コト」部門において大賞を受賞しましたが、今回はデザインを一新しての「モノ」部門でのエントリーです。事務局では、環境アワードへの参加は活動の普及活動として重要な戦略と考えております。

つきましては、大賞の一次審査投票にご協力いただけます様お願い申し上げます。詳細は公式ホームページをご参照下さい。

* 「ロハスデザイン大賞2016」公式ホームページ ⇒ <http://www.lohasclub.jp/>

* エントリーNO：「モノ」部門 018



●新・どんぐり博士の育苗講座（2016年4月号）～発芽と芽吹き時期です～

新緑がまぶしい季節となりました。園庭には沢山の花が咲き、植物を育てるのがとても楽しい時期ですね。

どんぐりの育苗においてもとても大切な時期です。生命の息吹を感じつつ育苗を楽しんで下さい。

どんぐり博士：河内和男（「子森ネット」森林インストラクター）



昨年の秋に蒔いたどんぐりがいよいよ発芽します。また、冬の間葉を落として枯れたようになっていた苗は、新たな葉が芽吹いたことでしょう。育苗をされていて、最も心配が大きくなる時ですが、無事に葉が芽吹き、どんぐりが発芽すれば、安堵すると同時に、最も喜びを感じる時ですね。日に日に増していく日差しが強さと気温によって、植物は冬の間の休眠から一転して、葉を広げて懸命に栄養を作り、生長しようとしています。生長のための材料は、理科の時間に習った通り、空気中の二酸化炭素と、根から吸い上げる土壌中の水です。二酸化炭素が足りなくなる心配はありませんので、この時期注意しなければならないのが、苗を育てているポットやプランターの土に含まれる水分が少なくなりすぎないようにすることです。

また今頃の晴天の日は、とても空気が乾燥することが多いです。ですから、5月中は、天気の良い日は、ほぼ毎日の頻度で水をあげて下さい。ただ、雨の量や空気の乾燥具合で、土中の水分量は大きく変わります。時々、土の乾き具合を確かめて、水分が充分にある際は、水やりの間隔を空けるようにして、根腐れにも注意して下さい。

最後にもう一つ、プランターで発芽させた2年目の苗で、まだポットへ植え替えていない場合、今が植え替えの時期となります。そして、植え替えを実施した後は、根がしっかり張れるよう、その後1週間ほどはたっぷり水やりして下さい。